

地域包括支援センター・高齢者支援センターの紹介

<p>地域包括支援センター</p>	<p>【地域住民の福祉の増進を包括的に支援するため、専門職員が次の事業を行っています。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の生活に関する相談 ・介護予防のための相談・支援、介護予防プラン作成 ・消費者被害防止、高齢者虐待早期発見などのための支援
<p>高齢者支援センター</p>	<p>【地域包括支援センターと連携して次の事業を行っています。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の生活に関する相談 ・介護予防教室や家族介護教室などの開催 ・地域の高齢者宅などへの見守り訪問
<p>担当地域</p>	<p>南ヶ丘・平和・陶都中学校区 太平地域包括支援センター (25)1135 総合福祉センター内 脇之島高齢者支援センター (22)4434 総合老人福祉施設ベルツリー内</p> <p>多治見・笠原中学校区 滝呂地域包括支援センター (24)5562 サンホーム滝呂内 笠原高齢者支援センター (45)0007 かさはら福祉センター内</p> <p>小泉・北陵・南姫中学校区 南姫地域包括支援センター (20)2021 ふれあいセンター姫内 北栄高齢者支援センター (27)3868 ふれあいセンター姫内</p>



福祉委員の活動紹介

6月26日(土)、7月11日(日)の2日間、総合福祉センターで地域福祉活動研修会を開催しました。福祉委員や民生児童委員など、2日間で264人が参加し、他市の支え合い活動や見守り活動の取り組みを学び、地域福祉への理解と関心を深めました。

1日目の研修会では、関市安桜支部社会福祉協議会の福祉委員が活動事例を発表、日本福祉大学中央福祉専門学校が講演を行いました。活動事例の発表では、地域で支援が必要な人の把握方法から台帳の整備、市社会福祉協議会への報告まで、見守りネットワーク活動の取り組みを発表しました。講演では、コミュニケーションの取り方について、相手の気持ちに寄り添うこと「共感」、相手のすべてを聴き取ろうとする態度「傾聴」の大切さを、顔の表情を交えて説明しました。



2日目の研修会では、安城市城南町福祉委員会の代表が活動事例を発表、ジョイフル各務原特別養護老人ホームの介護長が講演を行いました。活動事例の発表では、ひとり暮らしの高齢者など、町内の「気になる人」の課題に、近所の人力を生かした取り組みを発表しました。講演では、認知症の症状である記憶障害や理解・判断力低下などについて分かりやすく説明し、早期診断、早期発見の重要性を伝えました。周囲の人の支援のポイント「その人を知る」「頑張り過ぎない」など、認知症の基本的な理解と対応について、経験を踏まえながら話しました。

